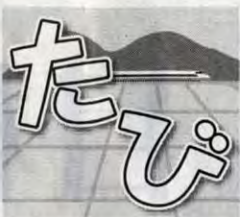


## 岡山 瀬戸内市



オリーブと瀬戸内の多島美…。日本のエーゲ海とよばれ、恋人の聖地をうたう牛窓(岡山県瀬戸内市)は、若者に人気の観光地です。

JR赤穂線巨久駅からバスに乗り約20分、終点「牛窓」を降りると、すぐ目の前がフェリー乗り場です。

シーズンにはシーカヤックやヨットセーリングが楽しめます。

白砂の広がる牛窓海水浴場、波おたやかです。浜を子どもたちが楽しげに駆けていきまです。声高に話しあっている若者グループ。7月の海開きを待ちきれないように、それぞれ楽しんでいきます。

すくなくにある、牛

# 白砂の牛窓海水浴場

## 「夕陽百選」・恋人の聖地



夢二の生家。16歳まで過ごしました

窓の総鎮守で恋愛祈願の牛窓神社。大鳥居をくぐると、石段が上へ上へと続いています。

ハアハアと息つきながら364段登りました。展望台から瀬戸の海が輝いて見えます。手前の前島の向こうに小豆島、左に家島諸島。瀬戸内海国立公園です。

町中に戻る途中の小さい石垣にちんまりとした祠のような小屋。瀬戸の海を行く船の安全を守ってきた「灯笼堂」です。

船だまりに係留された漁船を眺めながら、牛窓のプロムナード「しおまち唐琴通り」を歩きます。道幅が狭く生活道路を歩く趣があります。

しゃれた洋館に出会いました。「海遊文化館」(国登録有形文化財)です。館内に入ると二つの展示・資料室があります。

その一つが「だんじり展示室」。当地の秋祭「だんじり巡行」の

山車が2基、展示されています。船形の山車で、龍の頭と精巧な彫り物が見事です。

「山車には子どもたちが乗り、笛や太鼓ではやししながら町中を巡行します」と女性の職員が説明します。

もう一つの展示は「朝鮮通信使資料室」。朝鮮からの使節団が江戸への往復の途中、牛窓にも寄港・宿泊しました。通信使の巡行の行列の様子が精巧なジオラマで再現されています。「鎖国の時代にも朝鮮との交流はあったのです」と職員。通信使の衣裳や絵巻など豊富な資料を興味深く見ました。

せっかくの恋人の聖地ですから、牛窓オリーブ園で「幸福の鐘」を鳴らしましょう。

帰路のバスを途中下車(夢二生家前)、ご当地巨久町出身の画家・竹久夢二(1884～1934年)ゆかりの「夢二生家」と「少年山荘」を見学しました。夢二散歩道をたどると16歳までここで過ごした彼の作品の叙情が伝わってきます。

再訪したい牛窓です。「夕陽百選」の海を眺めに来ましょう。